

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成講座】

受託団体 八王子国際協会（愛称）地球市民プラザ八王子

1. 事業の趣旨・目的

「生活者としての外国人」にとって「生活に必要な日本語」の習得は不可欠であるが、在住外国人の増加に伴い日本語学習支援者が常に不足しており、「生活としての外国人」に必要な日本語支援を行う日本語学習支援者を増やすことを目的とする。

2. 運営委員会開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月15日	八王子国際協会 国際交流室	宮崎 妙子 坂野 加代子 武田 あき子 清水 久美子 高橋 陽子	講座内容・日程等確認	自己紹介 講座内容・日程等確認 八王子市広報掲載依頼
7月15日	国際交流室	5名	チラシ・ポスター内容 検討	チラシ・ポスター作成 掲載・配布依頼
8月10日	国際交流室	5名	講座受講者選考	講座受講者選考 受講者名簿作成
8月31日	国際交流室	5名	講座直前準備	9月5日 講座内容確認 ボランティア依頼
12月7日	国際交流室	5名	講座反省会	委員意見交換 実施成果のまとめ 今後について

3. 研修内容について

- (1) 「日本語ボランティア入門講座」
- (2) 研修の目的 日本語ボランティアを養成する

(3) 受講者総数 34名

(4) 開催時間数(回数) 20時間(10回)

(5) 参加対象者の要件 生活者としての外国人の日本語学習支援を初めてする方
(退職者・定年者を含む)

(6) 受講者の応募方法

HP(八王子国際協会・八王子市役所)・八王子市広報・ポスター掲示・チラシ配布(八王子市役所・事務所・図書館・市民センター等公共施設、八王子地域23大学等)・国際協会会員メールでの情報提供

(7) 研修会場

八王子市生涯学習センター 第2学習室・第7学習室
八王子労政会館 第5会議室

(8) 使用した教材・リソース

各講師作成教材、みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ

(9) 講座内容

	日時・曜日・会場	講座内容	担当	参加者数
1	9月5日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	八王子における在住外国人の現状 と地域日本語教室の役割 「日本の生活で困ったこと、私の日 本語学習方法」	八王子国際協会 NPO 法人 国際活動市民中心 (CINGA) 「日本語チーム」 宮崎 妙子	34名
2	9月12日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第2学習室	多文化共生社会と 地域日本語教育 ～その醍醐味と可能性～ ・地域日本語教育とは? ・外国籍住民と日本語教室 ・年少者に対する日本語支援	国立国語研究所 日本語教育 基礎情報センター グループ長 野山 広	31名
3	9月19日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語ボランティアの活動[1] ・参加型学習の手法 部屋の四隅 ・知っておきたい文法:動詞	立教大学 非常勤講師 山辺真理子	28名
4	9月26日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語教授法としての 参加型学習 参加型学習の手法を受講者と実践 しながら理論的に説明	東京外国語大学 教授 伊東 祐郎	34名
5	10月3日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語ボランティアの活動[2] ・参加型学習の手法: フォトランゲージ ・知っておきたい文法: 形容詞	宮崎 妙子	29名
6	10月10日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語ボランティアの活動[3] ・参加型学習: いいとこさがし ・地域日本語教室とは?	宮崎 妙子	27名

7	10月17日(土) 10:00~12:00	日本語ボランティアの活動 [4] ・ 参加型学習の手法: 二頭のロバ ・ 知っておきたい文法: 助詞	東京外国語大学 学習支援専門員 河北 祐子	27 名
8	11月7日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語初級文法 [1] ・ 日本語基礎文法 動詞・形容詞・助詞 ・ 初級文型 動詞+基本文型	帝京大学 日本語予備教育課程 専任講師 坂野 加代子	30 名
9	11月21日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語初級文法 [2] ・ 日本語初級文型の学習方法 ・ グループ別実習の準備 (教材準備、学習方法の検討、 発表準備)	坂野 加代子	28 名
10	12月5日(土) 10:00~12:00 クリエートホール 第7学習室	日本語初級文法 [3] ・ グループ別実習 ・ フィードバック	坂野 加代子	23 名

(10) 講座の評価
受講生に対するアンケート

- 講座全体の内容はいかがでしたか。
a. とても良かった 4 b. 良かった 16 c. あまり良くなかった 0 d. 良くなかった 0
- 日時等はいかがでしたか。
a. 土曜日午前中 14 b. 平日 5 c. 夜 1 d. その他1 2回/1日
- 回数はどうでしたか。
a. 10回 16 b. 多いほうがいい 3 15回・20~30回 c. 少ないほうがいい 0
- この講座をどこでお知りになりましたか。
八王子国際協会 3 市役所 0 市広報 16 各国際交流団体0 チラシ0 その他0
- 受講の動機は何ですか
a 日本語をボランティア教室で教えてみたいから 7
b 知り合いの外国人に聞かれた場合に答えられるようにしたいから 6
c 日本語教育に興味があったから 5
d なんとなく
e その他(4 日本語ボランティアの意義を知りたい)
- 現在、日本語ボランティアされていますか。
はい 3 いいえ 17
a. 日本語ボランティアをしている 3 a. 日本語ボランティアをしたい 10
b. 学習支援ボランティアをしている 0 b. 学習支援ボランティアをしたい 3
c. 上記以外のボランティアをしたい 4
d. 考えていない 3

7. 今後取り上げて欲しい内容をお書きください。

- ・ 在留外国人との国際交流(異文化交流)の仕方
- ・ 日本語ボランティアをやるにあたり、基礎的な講座をやって欲しい
- ・ この講座を続けて欲しい
- ・ 日本語教授法の基礎知識
- ・ 明確な課題を与えられて、それに対する評価
- ・ 文法を教える実習がもっとあったらベター。外国人・留学生との交流の場ももっと欲しい
- ・ 実際に日本語教室を見学したい
- ・ 実質的な教え方講座を作っていたら、実践につながると思います
- ・ 日常生活に必要な漢字の教え方についてよい方法がありましたら、教えて欲しい。日本の子どもに教えるのとは違うので

7. 講座全体へのご意見・ご感想をお願いいたします。

- ・ いろんな角度からの講座内容でとてもよかったです。
- ・ いろいろな現場の声を聞けて楽しかったし、ためになった。ただ、年末年始の講座やセミナーは参加できず、残念です。
- ・ 今回いろいろな面でよい経験になりました。
- ・ 受講生が熱心で、やる気がした。
- ・ 全体に日本語文法の知識や教え方の基礎を学ぶことが中心かと思いましたが、ボランティア活動のあり方、考え方が大勢を占めていたので、最初は少々戸惑いました。最後まで休まず出席できて、全体的に役に立ったと思います。
- ・ 日本語を見直すきっかけになった。講師の方の話を聞くことができてよかった。
- ・ 皆さんと交流ができました。先生方が人が好きで生き生きした講座を開いてくれるときは私も心にビーンときます。
- ・ 全体によく理解できて、今回の講座は大変良かったです。発表後の先生の注意点についての説明も良くわかりました。
- ・ 日本語教師と日本語ボランティアは一見同じように思われるが、違うものであると理解しました。外国人に対する日本語教育の現場では正しい日本語や美しい日本語を教えることについてどのように考えているのか知りたい。今回の演習で講義をされた人々の日本語に？を感じたことがありました。まず、私自身、日本人自身の勉強の必要性を感じました。
- ・ 新しい発見や自分のやり方に取り入れたいことがたくさんあって、とてもよかったと思います。
- ・ 前半部は日本語ボランティアの意義。アイスブレイキング、絵などを使った発想のツールの実習が主であった。この際は「文法」は重視しないでよい。相手と気軽に話すことが重要との雰囲気。後半具体的な文法の説明と文法教案の実習が始まった。すごく参考になった。日本人ボランティアは熱心で、優秀だと思う。意義などはかなりわかっていると思う。後半のような内容をもっと増やすほうが良いと思う。OB・OG会のようなものが欲しいという話が周囲にありました。
- ・ 概念的な話が多く、実践もしたのだが、全てがつながっているような、つながっていないような感じで、継続性が感じられない面がいくつかあった。
- ・ 講座の前半は実際にボランティアをされているグループの方が先生だったせいか、とても面白く学習できましたが、最後の3回の講座は大学の学生に対する授業のような感じで、実際に日本語を教えているわけではない私には難しすぎてついていけませんでした。前半までは文法は後回して、コミュニケーションをとりましようと思われていたのに、急に文法学習、即、発表というやり方は変えたほうが良いと思います。例えば、文法入門講座だけで、講座を10回開催するとか…。この場合はすごく簡単に実際のボランティアの教え方をおそわりたい。
- ・ 実際に外国人に教えるとき「体験実習」はためになりました。前半は「参加型学習」の授業がかなりありましたが、1対1で教える場合も多く、「参加型」の時間はもっと減らして、後半のような授業をふやせたらいいです。前半は少し退屈しました。
- ・ 講座内容が重複していることが2〜3回あったので、重複はなるべく避けていただければと思います。

た。

- ・ 講座の前半は実際にボランティアをされているグループの方が先生だったせいか、とても面白く学習できましたが、最後の3回の講座は大学の学生に対する授業のような感じで、実際に日本語を教えているわけではない私には難しすぎてついていけませんでした。前半までは文法は後回して、コミュニケーションをとりまじょうと教えられていたのに、急に文法学習、即、発表というやり方は変えたほうがいいと思います。例えば、文法入門講座だけで、講座を10回開催するとか…。この場合はすごく簡単に実際のボランティアの教え方をおそわりたい。

8. 参加型学習の感想

- ・ 写真を使って会話の中を広げ、日本語だけでなくその背景にある生活・文化の説明までできるという手法を体験できてよかったです。また教科書の文と違って、写真からいろいろなシーンを考えたり、想像したりして、一人一人が授業に積極的に参加できたと思います。ボランティアが教える際にも十分使えると思い、有益でした。先生のお話も明確ではきはきとわかり易く、2 時間があっという間でした。また教えていただきたいです。
- ・ 日本語教室に入って、友人を沢山作り、ネットワークを広げることは学習者やボランティアにとって大変良いことだと思います。「レヌカの学び」から相手の個人を大切にすることが大事なことです。本日の講座を聞いて主観の違い、固定観念のマイナス面に気づきました。
- ・ 普段何気なく使っている言葉「助詞」が実は以外に難しいということがわかってよかったです。使われている言葉は正しい。あまり難しく考えずに普段の言葉を少し意識して使ってみたいと思います。
- ・ 部屋の四隅に分かれて意見を述べるという参加型は緊張をほぐし、積極的な関与を促すという意味で効果的だったと思います。ただ一対一で教える場合に使えるか疑問。また、動詞を考える際のポイント、注意点なども詳しく教えていただけると助かります。
- ・ 「外国人が良い人間関係を築けるような日本語を教えることが大変。」という点が参考になりました。日本語ボランティアを志す方々の人柄や考え方を垣間見ることができ今後活動する場合に役に立つと感じました。ありがとうございました。
- ・ これから日本語ボランティアをやるために、活動するに当たっての参考になる教材だった。これは外国人にたいする…というもののだけでなく日頃の日常生活内のコミュニケーションにも当てはまること。早く多国籍の方とコミュニケーションを取って、自分自身にも新しい知識を入れていきたいと思いました。
- ・ 生活習慣、文化の違いをふまえて、ボランティアに携わるべきだと感じました。
- ・ 私自身が共に学ぶことがボランティアの一步と考えています。
- ・ 地域日本語教室のあり方・役割・機能について大変参考になりました。

9. 実習への感想

1) グループ実習の形式はどうでしたか

- a グループでよかった 14 b 一人でした方がよかった 3
c その他(1 できる段階ではないので、まだやらないほうが良かった)

2) この実習についての感想(教え方、教材、etc.)

- a 大変満足 2 b 満足 10 b 普通 7 c やや不満 0 d 不満 0

3) 実習について ご感想、ご要望などありましたらお書きください。

- ・ 説明をなるべく少なくし、実際、受講者を動かし、小道具、絵等を使って、体験させながら、教えていくのが効果的であると実感しました。
- ・ 少し時間をかけてじっくりやっていただくとベター。少しスピードをつけて急いでやったので、頭が混乱した。とても勉強になりました。韓国人の生徒さんを連れてきてくださったので、とてもよかったです。リアル感がちがいます。用意した教材についてアドバイスしていただければうれしいです。
- ・ 教える立場になって、初めて、日本語をきちんと理解していないことに気がつきました。
- ・ 皆さんの教え方を見て、知って、日本語を教える難しさと面白さがわかりました。また、ほんの少しですが、教えるコツも垣間見えた気がします。国語ではなく日本語の文法を教えるという知識がなかったので、最初は戸惑いましたが、3回の講義の中で実際例から徐々に理解できたと思います。ありがとうございます。

ざいました。

- ・ 大変わかりやすかったです
- ・ もっと実践的な、理論ではなく構想と打ち合わせ発表を3週に分けたグループレッスンをしたかった。時間配分が悪かった。
- ・ 実践的な内容でよかった。

実施主体からの研修内容結果評価

- ・ 9月から12月までの長期間だったが、34名のうち30名が修了し、15名がステップアップ講座を受講している。
- ・ 八王子の日本語ボランティアの現状を伝えることができた。
- ・ 在住外国人の状況を知り、理解し、できることからボランティアに取り組もうという気持ちを持ってもらえた。
- ・ 日本語ボランティアとして「教える」と「教えられる」・「先生」と「生徒・学習者」という関係ではなく、地域の一員として一緒に日本語を学習するという姿勢を学んでもらうことができた。
- ・ 国語教育と日本語教育の違いについて理解し、「教える」ことの難しさも感じてもらえた。
- ・ 日本語ボランティアだけでなく、外国人とのかかわり方、人と人のかかわり方について参考にしてもらえた。
- ・ 協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室に積極的に見学に行かれたり、他の研修会に参加されたり、日本語教育能力試験のために勉強を始めた方もいた。
- ・ 協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室や、協会が12月から開始した「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援事業」に参加された方もいた。
- ・ 日本語ボランティアのネットワーク作りでもっと積極的な働きかけが必要だった。

(9) 今後の計画

- ・ 2009年12月19日より入門講座に続くステップアップ講座を開催
- ・ 次年度も入門講座・ステップアップ講座を開き日本語ボランティアを養成
- ・ 八王子市生涯学習センターとの協働による日本語ボランティア教室の開催し、活動の場を提供

(10) 事業の成果

1・他事業との連帯

- ・ 協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室の紹介
- ・ 八王子国際協会の「外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援教室」のボランティア及び研修会への参加を呼びかけ

2・研修後の人材活用

- ・ 協会団体会員が主催する日本語ボランティア教室に参加
- ・ 八王子市生涯学習センターとの協働による地域日本語ボランティア教室での活動に参加
- ・ 八王子国際協会の外国にルーツを持つ児童・生徒の学習支援事業に参加

(11) 今後の課題

- ・ 質の高い日本語ボランティアの養成講座の継続
- ・ 日本語ボランティアによる日本語ボランティア養成講座企画・運営
- ・ 外国人による日本語ボランティアの養成と地域日本語教室での役割
- ・ 外国にルーツを持つ児童・生徒の日本語及び学習支援の在り方
- ・ 地域の日本語ボランティア活動の継続と支援
- ・ 地域大学等の日本語教育機関、行政機関との連帯活動
- ・ 魅力ある日本語ボランティアコミュニティ作り
- ・ 文化庁による今回のような委託事業の実施依頼